

外国語（英語）科学習指導案

指導者 呉市立天応中学校 教諭 川崎 悟

- 1 日 時 平成25年6月20日（水） 14:30～15:20
2 場 所 E - r o o m
3 学年・学級 第3学年A組 男子18名 女子16名 計34名
4 単 元 名 Lesson 3 “Rakugo Goes Overseas” NEW CROWN ENGLISH COURSE 3（三省堂）
5 単元について

○単元観

本単元は、学習指導要領の2内容（1）言語活動の「書くこと（オ）「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」の育成をねらいとしている。

この単元は、日本の伝統文化である落語を題材として取り扱っている。エマが故郷のオーストラリアで友達のショーと落語について話している場面からこの単元は始まる。そこで、新出の文法事項として現在完了形の経験用法を学習する。その後、場面が変わりエマが健から教えてもらった小唄を披露する。新出文法事項としては現在完了形の完了用法を扱っている。USE Readの部分ではインタビュー形式で、オーストラリアで英語落語の公演を行っているきみ江さんから話を聞いた際の新聞記事を読んでいく。会話文形式であるため、比較的容易に読み進めることができると予想されるが、その分、どの部分が大事なのかを理解せずに淡々と読んでしまうおそれもある。メッセージ性が強いのはインタビューに答える人の応答であることに気づかせ、どの部分が筆者が一番伝えたいことなのかを読み取っていく必要がある。

○生徒観

3年A組は、元気のよい学級である。個人差はあるものの、単語の発音練習や教科書音読などでは大きな声をだしている。また、学年を重ねるごとに人間関係はよくなってきており、ペア活動等も積極的に行おうとする生徒が多い。

しかしながら、学習規律に課題がある生徒が多い。学習規律を壊けるとともに、しっかりと授業に集中させることが必要である。同時に自己肯定感が低い生徒の多いクラスでもある。生徒の関心を高めたり生徒に達成感を感じさせたりするようなコミュニケーション活動などのタスクを課すことが求められる。

昨年6月に実施した、広島県「基礎・基本」定着状況調査では、既習の英語表現を活用して、会話文の流れを理解し、その中心となる事柄を把握する力をみる問題において通過率が68.8%と県平均を下回った。英問英答やトピックセンテンスの抜き出しなどを通して、まとまりのある英文から概要や要点を読み取る活動を行ってきたが、継続して実施をする必要がある。

小中一貫に関わる指標について、生徒の現状は、【理解すること】がレベル2の「相手の考えの根拠を理解できる」、【表現すること】がレベル2の「必要に応じて、理由や根拠を交えながら、既習事項をもとにして表現することができる。」である。

○指導観

Lesson 3では新出の文法事項として現在完了形の経験用法、完了用法を扱う。用法ごとに持つ意味が変わることを生徒に理解させるため、言語の使用場面を意識したコミュニケーション活動を設定し、活動の質と量を保障していく必要がある。またこれらの表現はインタビューの中で質問の一つの形として使用されることが多い。インタビュー形式の会話は、そのままでは、必要な情報とそうでない情報が混在しており、読み取りの際にはメッセージ性のあるものを選択して読んでいくことになる。そこで本単元では、USE Readにおけるインタビュー形式の長文から、インタビューに応じる落語家の「きみ江さん」の応答の内容を中心に焦点を当てて、要点を読み取ることを一つのタスクとする。

加えて、生徒の表現力を育成するため、また英語の技能間の統合的なつながりを持たせるため、要点を理解した後、それを他者に伝えるために文体を変えて要約文を作成する。その際、他者意識をもって「きみ江さん」の応答の内容以外にも説明すべき点はないかを考えさせ、理由づけをしたうえで文章化させる。よって、本単元の最終的なタスクは、「会話文を読み、その要点を英語でまとめる」とした。

加えてコミュニケーション活動や本単元のタスクを円滑に進めていくために、しっかりと語彙と文型を理解させ、また生徒が使うことになるであろう表現を提示していく。そのために、授業のウォームアップ活動として単語テスト、コンピュータを用いた単語提示、文型のサイトトランスレーションの活動を行う。

この単元を指導することで、小中一貫に関わる指標【理解すること】をレベル3の「自分の考えとの共通点や相違点を理解している。」、【表現すること】をレベル3の「筋道を立てたり構成を工夫したりしながら表現することができる。」に高める。

6 小中一貫教育に関わる指標

項目 \ 段階	1	2	3	4
理解すること	必要に応じて質問し、相手の考えなどを概ね理解している。	相手の考えの理由や根拠を理解している。	自分の考えとの共通点や相違点を理解している。	自分の考えとの共通点や相違点を整理し、自分のものの見方や考え方を深めたり、広げたりしている。
表現すること	自分の考えが相手に伝わっているか確かめながら表現することができる。	必要に応じて、理由や根拠を交えながら、既習事項をもとにして表現することができる。	筋道を立てたり構成を工夫したりしながら表現することができる。	異なる立場や考えと比較しながら、自分の考えをまとめ、表現することができる。

7 単元の目標

- ・音読活動に積極的に取り組む。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・書く活動に積極的に取り組む。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・会話文を読み、その要点を英語でまとめる。(外国語表現の能力)
- ・会話文の要点を読み取る。(外国語理解の能力)
- ・現在完了形(経験用法)の意味・用法を理解する。(言語や文化についての知識・理解)
- ・現在完了形(完了用法)の意味・用法を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

8 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①音読活動に積極的に取り組んでいる。 (言語活動への取組：読むこと)	①会話文を読み、その要点を英語でまとめることができる。 (適切さ：書くこと)	①会話文の要点を読み取ることができる。 (適切さ：読むこと)	①現在完了形(経験用法)の意味・用法を理解している。 (言語についての知識)
②書く活動に積極的に取り組んでいる。 (言語活動への取組：書くこと)			②現在完了形(完了用法)の意味・用法を理解している。 (言語についての知識)

9 指導と評価の計画 (全10時間, 本時は2/10)

時間	学習内容	評 価					
		ア	イ	ウ	エ	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学ぶ内容, 身につける力について知る。 教科書 P.24, 25 の新出単語を学習する。 現在完了形 (経験用法) の意味・用法を理解する。 				○	①現在完了形 (経験用法) の意味・用法を理解している。	後日ペーパーテスト
2 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.24, 25 の新出単語を学習する。 現在完了形 (経験用法) を用いたインタビュー活動を行い, 意味・用法の理解を深める。 				◎	①現在完了形 (経験用法) の意味・用法を理解している。	後日ペーパーテスト
3	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.24, 25 の新出単語を学習する。 教科書 P.24 の本文の内容を理解する。 	○				①音読活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察
4	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.26, 27 の新出単語を学習する。 現在完了形 (経験用法) の意味・用法を理解する。 				○	②現在完了形 (完了用法) の意味・用法を理解している。	後日ペーパーテスト
5	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.26, 27 の新出単語を学習する。 教科書 P.26 の本文の内容を理解する。 	○				①音読活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察
6	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.28 の新出単語を学習する。 教科書 P.28 の本文の概要を理解する。 	○				①音読活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察
7	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.28 の新出単語を学習する。 教科書 P.28 の本文の概要を理解する。 	○				①音読活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察
8	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P.28, 29 の新出単語を学習する。 教科書 P.28, 29 の本文の要点を読み取る。 			◎		①会話文の要点を読み取ることができる。 【理解すること】	ワークシート 後日ペーパーテスト
9	<ul style="list-style-type: none"> 会話文から要約文を作る方法を知る。 重要なことを話しているのは誰か, 内容語はどこかなどに注目して要約文を作る練習をする。 						
10	<ul style="list-style-type: none"> 会話文を読み, その要点を英語でまとめる。 		◎			①会話文を読み, その要点を英語でまとめることができる。 【表現すること】	ワークシート 後日ペーパーテスト

1.0 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・現在完了形（経験用法）を用いてインタビュー活動ができる。

(2) 本時の評価規準

- ・エ①現在完了形（経験用法）の意味・用法を理解している。

1.1 本時の展開

学 習 活 動	指導上の留意事項◇ 「努力を要する」状況と判断される生徒への手立て◆	評価規準	評価方法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教える</p> <p>0 立腰・黙想・あいさつ</p> <p>1 教科書 P.24, 25 の新出語句の学習をする。</p> <p>2 ワークシートを用いて、現在完了形（経験用法）の文のドリル学習を行う。</p> <p>3 インタビューを見て、リスニング活動に取り組む。</p> <p>4 インタビューで用いられた現在完了形（経験用法）の文の意味・用法を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 現在完了形（経験用法）がどのような意味で使われていたか確認しよう。 </div>	<p>◇呼名の際に大きな声で返事をさせる。</p> <p>◇コンピュータを活用して、フラッシュカードの形式で単語を提示していく。</p> <p>◆個別に発音指導を行う。</p> <p>◇ペアで現在完了形（経験用法）の文を用いてサイトトランスレーションを行わせる。</p> <p>◆チャンクごとに区切って読む文と、一文そのまま読む文に分けて、段階的に定着を図る。</p> <p>◇JTEとALTがインタビュー形式で会話をしているビデオを見て、その内容についてのリスニング活動に取り組ませる。</p> <p>◆先に問いを提示することにより、ポイントを絞って聞き取らせる。</p>		
<p>5 本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 現在完了形（経験用法）を使って、インタビューができる。 </div>			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">考えさせる</p> <p>6 インタビュー活動に向けて、モデル会話を音読する。</p> <p>7 インタビュー活動に向けて、質問する英文を作る。</p>	<p>◇リスニング活動で聞いたインタビューを文章化して生徒に提示することで音読しやすくする。</p> <p>◇インタビューの際に重要な表現を確認させる。</p> <p>◆<Have you ever 過去分詞>までは提示しておき、その続きを考えさせる。</p> <p>◆机間指導で語彙や発音について助言を行う。</p> <p>◇机間指導で正しく書けているか確認する。</p>		

	<p>【言語活動の充実】</p> <p>8 現在完了形（経験用法）を用いてインタビューをする。</p>	<p>◇机間指導で正しい応答ができているか確認する。</p>	<p>エ①</p>	<p>後日ペーパーテスト</p>
<p>現在完了形（経験用法）用いてインタビュー活動をしよう。</p>				
	<p>9 インタビュー結果をもとに、他己紹介文を作成する。</p>	<p>◇生徒から、現在完了形の英文だけでは他己紹介にならないことを気づかせ、他己紹介に必要な表現を引き出す。</p> <p>◆他己紹介の文章の流れをスクリーンに提示する。</p> <p>◇机間指導で英作文の助言を行う。</p>		
	<p>10 インタビューをもとに他己紹介を行う。</p> <p>【表現】レベル3に向けて （学習形態：全体への発表）</p>	<p>→</p>	<p>小中一貫に関わる指標</p> <p>インタビュー結果から伝える構成を熟考し、筋道立てて他己紹介をすることができる。</p>	
<p>インタビューをした相手について、英語でわかりやすく他己紹介をしよう。</p>				
<p>振り返る</p>	<p>11 本時のまとめをする。</p>			
<p>次の日本語を英語に直しなさい。 「あなたはこれまでに京都に行ったことがありますか？」</p>				
	<p>12 次時の学習と家庭学習を確認する。</p>	<p>◇自己評価活動の英文を「今日の一文」とし、次回の授業で行う小テストの問題として活用する。</p>		

1 2 板書計画

Today's goal: 現在完了（経験用法）を使って、インタビューができる。

(スクリーン)

- ※授業で提示する映像や会話文，Q & A，他己紹介の型などを提示する。
- ※P Cを通してフラッシュカードを提示する。

今日の一文

あなたはこれまでに京都に行ったことがありますか？
→Have you ever been to Kyoto?